

木の住まい論 5

日頃は、当センターのいえかるて事業をご利用賜り厚く御礼申し上げます。
新年度を迎え桜の花が各地で見頃の時期となりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大をうけ各地で不要不急の外出自粛の要請が出ておりますので、衛生面に気を付け、この危機を乗り切りましょう。

さて、今回は、木造住宅について考える「木の住まい論」の続きをお届けします。

木の住まい論5 木の住まい論5 木造住宅の木骨住宅化と「古民家」ブーム（2）

幸いなことに、私たちは伝統的な木造住宅の美しさの事例を多く持っており、美しい地域を持っている。
出雲地方の築地松、砺波地方の屋敷林は、独特の散居集落（散村）を作っていたし、台風常襲地の南西諸島では石垣とガジュマルの木で囲まれた低い家並が肩を寄せあっていた。自然と一体になって美しい風景を作り出していた。日本の美しいふるさとの原風景であった。世界文化遺産に登録された岐阜県白川郷の集落は、その典型的な形をよく残している。

住宅は個別につくられるものではあったが、それらがお互いに調和を保ち、地域の特徴が自然に創出する仕組みを持っていた。住まい手の協働作業と職人の技によって、木・土・草といった限られた地域の自然素材を有効に用いる建物で自然と共生する住まいであった。飛騨の合掌づくり・甲州の切り破風づくり・山梨の甲（かぶと）づくりなどは、養蚕農家の蚕室を小屋裏にとる工夫から生まれたものであるし、南部地方の曲がり家は畜産のためのものであった。地域の民家はその土地の生業と深く結びついていた。

この仕組みは、農村にだけ備わっていたのではない。都市に高密度に集住する住まいである町家は、木造住宅の伝統技術をより一層発展させてきた。道に面して狭い間口と深い奥行きを持って、軒を並べて建てられる建物の形、仕事の場と一体になった居住形態は、古今東西に共通する普遍的な形であり、わが国の場合、それを木造住宅の集合として展開してきた。大小様々なものを軒高さや軒の出、格子や大戸などのデザインの枠組みを共通にしながら、それでいて例えば、格子はそれぞれ太さの異なる炭屋格子・米屋格子・酒屋格子・糸屋格子など生業を表すバリエーションを持ち、またそれがそれぞれの意匠を競う巧みな町コミュニティの表現としての街並み景観を実現していた。

オモテからウラへの空間秩序や、トオリニワ、ウラニワやツボニワを配した都市の自然共生をも実現していた。今、民家、町家そのものの美しさ、それらによってつくられていた農村風景、街並みの美しさは失われつつある。もはや美しい日本の残像しか残っていないと言う者までいる。戦後の木造住宅は、こうした遺産を生かすこと、継承することを怠ってきた。否、むしろ、排除してきた経緯を持っている。

木造住宅の自然素材としての木材を生かした、日本の気候風土に適応した住宅だというイメージと現実の間には大きな乖離がある。木造住宅は戦後の半世紀の間に大きく変化し、木材を単なる構造材料として扱う「木骨住宅」化してきた。本来木造住宅が持っていた自然共生の仕組みやその美しさを継承することに失敗したのではないだろうか。

それでは、どうしていけば良いのか。（つづく）

一般社団法人住宅長期支援センター
理事長 東樋口 護
(公立鳥取環境大学名誉教授)

※お知らせ

①WEB トップ画面に「次の点検時期」お知らせ欄が追加されました。

②住宅の売買や相続等で、所有者が移転する場合は、当事務局か、点検登録店へお知らせ下さい。

所定の手続き後、新所有者専用の証明書、ログインID・パスワード等を発行し、新築時の住まいの情報及び点検記録の引継ぎとWEBの活用、点検案内等のサービスを引続き新所有者さまにご活用いただけます。売買時には住宅の価値証明にもなり、売り手側にも有利に働きます。是非ご活用をお勧めします。

以上

★賛助会員様の情報提供

<https://www.woodone.co.jp/product/kitchen/> 木を育てている会社を作る、木のキッチン！

<https://www.woodone.co.jp/showroom/> ウッドワン(株)様の全国のショールーム情報！

<https://woodone.jp/> インスタグラムをはじめ、無垢の木のある空間をご提案！

- ※ 維持保全計画、点検の実施についてのご質問、ご不明の点は、事務局までお問合せください。
- ※ 「登録住宅いえかるて」のご説明は、ホームページをご覧ください。<https://www.holsc.or.jp/iekarute/>
登録住宅いえかるてWEB ログイントップ：<https://www.toroku-jutaku.net/>
- ※ 「登録住宅いえかるて」WEBの「住宅所有者ID」をお忘れの方や不明の方、ご質問や資料をご希望の方、「担当の点検登録店」がご不明の方は、info@holsc.or.jp へメールをお願い致します。
- ※ センターのブログ、Facebook も是非ご覧ください。
 - ブログ <http://www.holsc.or.jp/information/blog/>
 - Facebook <https://www.facebook.com/一般社団法人-住宅長期支援センター-265533456815676/>
- ※ お住まいのご質問や相談、空き家の管理や活用の電話相談を承っています。
- ※ 自治会や子供会等へ「住まいの出前講座」をお受けしています。イベント企画にご利用ください。
- ※ このメールマガジンをご希望、又は不要の場合は、info@holsc.or.jp へご連絡をお願い致します。

一般社団法人 住宅長期支援センター

TEL : 06-6941-8336 FAX : 06-6941-8337 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4 MF 天満橋ビル 5階

登録住宅いえかるてWEB ログイントップ：<https://www.toroku-jutaku.net/>